



関中央ロータリークラブ

2018-2019 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：関市池尻 91-2
 事務局：関市西本郷通 5-2-53 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
 会長 波多野篤志 副会長 古田博文 幹事 吉田和也 クラブ会報委員長 塚原康寿

2018~2019年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「自ら行動するロータリーへ！」



インスピレーションになるう

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第1965回例会 2019年2月7日(木) / 担当 職業奉仕委員会
 「職場例会 安桜山公園展望台見学」 関市安桜山駐車場 午前10時集合

前例会の記録 第1964回 2019年1月24日(木)
 「関商工高 台湾交流の報告」
 担当 国際青少年交換委員会

*ロータリーソング「我等の生業」斉唱

*お客様の紹介

東海北陸道グループガバナー補佐 可児 昌則様
 関市立関商工高校

工業科主任 牛丸 憲一先生
 IAC顧問 内海 流水先生
 3年 井上 未結さん
 3年 猿渡 有奈さん
 3年 坂口 奈奈美さん
 保護者 3名

会員夫人 加納 啓視様
 高井 温都子様
 吉田 本江様

*会長あいさつ 波多野篤志会長

今週の日曜日1月20日から大寒に入りました。暦の上では、一年で最も寒い時期ということになります、



実際には一週間ほど後の1月26日から2月4日までに最低気温を更新することが多いそうです。最近、日に日に寒さが厳しくなっていますし、インフルエンザも流行っています。日ごろからの体調管理に努めていただきたいと思います。

さて、本日は、東海北陸道グループガバナー補佐の可児昌則さんに来ていただいております。後程、ご挨拶と終了時に講評をいただきたいと思いますので、よろしくお祈りします。

また、本日は、昨年12月19日より3泊4日の行程で、台湾の景文高校に交換学生として研修に行っていた関商工の学生さん3名とその親御さん、引率でいただいた教員の牛丸先生と内海先生に来ていただいております。当クラブが、主要事業の一つとして、台北南隆ロータリークラブとの交換学生事業の成果が聞けると思います。大変興味深く楽しみにしていますので、よろしくお祈りします。また、今回の経験を今後の生活に活かしていただきたいと思いますし、学校での活動に活かし、後輩たちにこの事業の貴重さや楽しさを伝えていただきたいと思います。又、学生のご両親にも、今回の事業報告を聞いていただき、ロータリークラブの活

動の一部分でもご理解いただけたらと思いますので、よろしくお祈りします。本日は、お客様も多くお話しただく時間も限られていますので、わたくしの挨拶は短めで終わらせていただきたいと思います。本日はどうぞよろしくお祈りします。

*ご挨拶

東海北陸道グループガバナー補佐 可児昌則様



今日は台湾に行かれましたインターアクトの生徒さんの話を聞き、私なりに勉強させて頂きたいと思っております。振り返ってみますと、私もローターアクトをしており、韓国へ引率という立場で行って、韓国のローターアクトのメンバーと交流をさせて頂きました。大変その時も勉強になり、今に至っているのかなと思います。私が所属するクラブは人数が少なくインターアクトやローターアクト、青少年交換というのはなかなか出来ませんが、今日のような席で話を聞かせて頂くと今後の勉強になるかと思っております。今日はよろしくお祈りいたします。

* 関商工高生徒 台湾交流の報告

ご挨拶 関市立関商工高校

工業科 主任 牛丸憲一先生



今回は引率という立場で台湾に同行させて頂き、色々お世話になりました。ありがとうございます。

初日、最初盛大なパーティからはじまったところが衝撃的でした。慣れない挨拶をさせて頂き、何よりもそこでロータリークラブの方から温かいお言葉をかけて頂き、心が和みスタートさせて頂きました。

生徒は、各ホームステイ先でコミュニケーションをいかにとるか、チャレンジするというを経験させてもらえ、とてもいい勉強になったと思います。言葉が通じないから海外は苦手ですという在校生の生徒もいますが、「まずはやってみよう」という言葉が、今年に入ってから自分でもふと気づくとそんな言葉が出ているような気がします。今回の研修旅行で引率をさせて頂きましたが、一番学んだのは私たちではないかと思うぐらい勉強させて頂きました。今は在校生の子達と台湾の子達をどうやって接待し

ようかと話をしています。今後も関商工の国際活動を広報していきながら教員活動をしていきたいと思っております。

IAC顧問 内海流水先生

ロータリークラブの皆様には、日頃からお世話になっております。最初に御礼申し上げたいと思っております。ありがとうございます。



行く前に研修ということで 11 月に入った頃から集まりを持ち、台湾語での自己紹介や基礎的な会話を学びました。ホームステイをするということで、初日は不安と期待感の中で出発しました。交流をするうち、子供同士はどんどん仲良くなり、お互い英語も日本語も分からないなかで、スマホを使ったりしてコミュニケーションをとっていました。授業はマグカップを作る授業、プログラミングをして車を走らせる授業など交流しながらする授業が多くありました。私も含めて驚いたのは向こうの生徒さんの語学力で、3カ国語も話せるような生徒さんもいて、後で書いてもらった報告書にも語学力が素晴らしかったから、もっと英語を頑張ってみようと思ったなど何人もの生徒が書いておりました。

ただの観光旅行とは違って、生活習慣も語学も違うので苦勞もしたと思いますが、その分自分の身になったのではないかと思います。本当に貴重な体験だったと思います。最後までなかなか別れられず、今もラインなどでやりとりもしているようです。

今後は、2月15日に課題研究発表会というのがあり、その場で台湾を訪問した生徒が全校生徒の前でプレゼンをすることになっております。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

総合ビジネス科3年

井上未結さん

「自分を知る・たくさん学ぶ」

私は1年生のころから台湾研修に行きたいという気持ちがありました。



なぜなら高校生のうちに海外に行けることはとても貴重な体験だと感じたからです。また、3年生となり進学先が決定し、入学するまでに出来ることは何か考え、台湾研修に行くことにしました。その

ため台湾に行けるチャンスを頂くことができ、とても嬉しかったです。

実際に4日間過ごしてみて、日本との違いをたくさん実感しました。言葉はもちろんですが、日常生活や学校生活、街の雰囲気や空気など全てがとても新鮮でした。特に私が印象に残っているのは、言葉の違いと学校生活です。台湾で使われているのは主に中国語ですが、私たちには理解出来ないことが多く、結果英語で話したり、簡単な日本語で話したりすることが多かったです。現地の方たちは私たちが中国語を話すことができないということを理解して下さり、日本語で話してくれることも多かったです。どうすれば上手くコミュニケーションがとれるのか考え、今まで学んだ英語を使って話したり、どうしても上手く伝わらない時はインターネットを使って会話をしたりしました。それは日常生活だけでなく、学校生活でも同じでした。

学校では日本の学校や関商工とは違う点がいくつもあり、驚きました。台湾の学校は日本よりも英語の授業に力が入っていて、2年生で英語がとても流暢に話せていて、驚きと同時に自分も英語を好きになってもっと勉強しようと思えました。また、いくつかの国の留学生もいて、英語だけでなくその国の言語など国際的な交流が出来ることにとても憧れました。言語は違ってもコミュニケーションはとれましたし、お互いに聞きあったりすることで相手を知ろうとすることができました。日本で過ごしていると自分の気持ちがなかなか伝えられずたくさんの後悔をしますが、初めての海外で日本語が通じない環境の中、自分の言葉で伝えないといけないと感じましたし、たとえ間違えていたとしても諦めずにいろんな方法を使って伝えようとする気持ちが大切だと思いました。そして、帰国した今でも台湾の学生とは連絡を取り合っており、お互いの国について話したりしています。そのなかで新たに知ったこともありますし、知識が増えていくことを嬉しく感じています。

今回の研修で私にとって1番大きな出会いがありました。それはホストファミリーです。私の将来の夢は旅行会社で働くことです。ホストマザーは偶然

にも日本人の方で旅行会社に勤めていらっしゃると思います。国は違っても旅行に関することや、日本と台湾それぞれの違いや文化など、私たちが理解しがたい事までたくさんのことを教えていただき、学ぶことができました。

4日間という短い期間ではありましたが、私たちにとってはとても有意義であり、濃い時間となりました。そして毎日が新鮮で刺激を受けました。高校生である今経験出来たことは本当に貴重でしたし、将来必ず活かせるものだと思います。現地の生徒だけでなく、一緒に行った下級生とも交流ができ、良い思い出となりました。普段の生活で味わえないこと、今だからできることを4日間で実感できたので、本当に行ってよかったと思います。自分自身と向き合うきっかけにもなりました。

高校生活の最後にこのような機会を下さったロータリークラブの方や現地の方、先生方などこの研修に関わってくださった全ての人に感謝したいです。ありがとうございました。

総合ビジネス科3年

猿渡有奈さん

「台湾の文化にふれる」

12月19日～22日の4日間にわたり、台湾研修に参加させて頂きました。



この4日間で台湾の魅力を見つけることが出来ましたし、沢山の文化にふれることが出来ました。

1日目の九份観光では、千と千尋の神隠しの舞台でもある建物を見ました。日本の建物はシンプルですが、台湾の有名な建物は色とりどりで複雑な形をした飾りなどがついていてとても綺麗な建物ばかりでした。また、日本でも毎日のように飲むお茶ですが、台湾のお茶は1つひとつ種類があり、お茶の色が日本では見られない、綺麗な黄色のお茶や香りがいいものばかりでした。日本で飲む烏龍茶と台湾で飲む烏龍茶は香りも、飲みやすさも違い驚きました。

2日目からは、台湾の学校である景文高校へ行きました。学校に着いてはじめて驚いたのは、とても大きな門があることです。関商工には大きな門がないのでとても驚きました。門をくぐると沢山の生徒が挨拶をしてくれました。関商工でも挨拶を大切に

していますが、景文高校の生徒の皆さんの挨拶は明るくて元気な挨拶でした。また、景文高校の生徒の皆さんはみんな親切な方ばかりで、言葉が通じないなかジェスチャーや簡単な英語などで、沢山コミュニケーションをとろうとしてくれてとても嬉しかったです。授業では、まずパソコンを使ってマグカップのデザインをしていきました。画面にタッチペンを使って色を塗っていきました。パソコンの技術がとても高く、パソコンで書いたとは思えない絵が沢山あり驚きました。2時間目に数学としてロボットを組み立て、組み立てたロボットにパソコンで速度を入力して、速く走るロボットを作成しました。右に曲がる時、左に曲がる時、様々なパターンがあり、上手く速度を組み合わせていくのはとても難しかったです。3時間目には体育として、台湾の伝統的な武術・護身術を習いました。カンフーのようなもので、体幹と体全体を使ってやるものでした。台湾の伝統的なものを習えて良かったです。夜には、台湾でも有名な夜市に連れて行ってもらいました。夜市には台湾のB級グルメやお土産などが沢山売っていました。とても広く、様々なお店がやっていて楽しかったです。日本の夏祭りなどに似ていると感じました。

3日目の景文高校の授業は、はじめに留学している学生さんと話し、ありがとう、こんにちは、チョコレートが好きという言葉が様々な国の言葉で言いました。ドイツ、ブラジル、イタリア、ポーランド、フランスの言葉を習いましたが、ポーランドの言葉がとても難しかったです。2時間目には糸と紙皿を使って写真立てを作りました。切り込みが入っている紙皿に三角形や四角形などを糸で作っていきました。完成を想像しながら作るのがとても楽しかったです。昼食を食べたあとに、市内観光として景文高校の生徒の方と一緒に台北101を見に行ったり、國父記念館に行きました。國父記念館では、衛兵の交代式を見ることが出来ました。一步一步が揃っていて、腕の角度なども細かく揃っていてとてもカッコ良かったです。日本では警備の交代は盛大にやるものではないのでとても新鮮でした。夜はホームステイ先の家で台湾の鍋を食べさせていただきました。

また、家がキリスト教のため協会の仲間の方々が家にクリスマスの歌を歌いにこられ、聞いたことのある曲を中国語で聞けてめったに出来ない経験が出来ました。

4日目は、国立故宫博物院に行きました。有名な翠玉白菜を見たいと思いましたが、白菜は別のところに展示に置いてありませんでした。しかし、肉形石などを見ることができ、他にも昔使われていた鍋のようなものなども見えました。台湾の古い歴史を感じる事が出来ました。

この4日間、日本語が通じないなか様々なことに気付きました。台湾で出会った人々は優しい方ばかりで、台湾という国は、昔ながらの伝統を守ったりしている素晴らしい国でした。沢山の方に支えられ、台湾の文化にふれることが出来てとても楽しかったです。機会があればまた行きたいです。

総合ビジネス科3年

坂口奈奈美さん



「日本と台湾の文化の違い」

台湾と日本の文化には共通する点も多いですが意外なところに違いがありました。その文化の違いを、『街の文化』『交通文化』『食文化』『日常の文化』の4つに分けてみていきます。

まず初めに、『街の文化』の違いは、日本の自動車は基本左側を通行しますが、台湾では右側通行をします。そのためハンドルも左側で日本と逆になっています。また、台湾には夜市があるため、夜型文化です。平日の夜でも家族や友達などと夜市へ行き、夕食や、買い物を楽しむ人が多くいます。今回私が行った士林夜市は台湾の中で一番大きな夜市で、観光客や、地元の方でにぎわっていました。

次に『交通の文化』の違いについて説明します。台湾には黄色いタクシーが多く、MRTという地下鉄もあります。あまり自動車に乗らない台北の人々は、よくこれらの交通機関を使用しています。MRTには決まりがあり、飲食が一切禁止です。これは通勤帰宅ラッシュ時などに交通機関を使う人が多いため、MRTを清潔に保つための決まりです。違反すると罰金を取られてしまうほど、決まりは厳しい

です。MRT だけでなくタクシーも活発に動いています。辺りを見回すと普通の自動車より黄色のタクシーが目立つほどです。今回の研修で3回タクシーにりましたが、タクシーの内装も一つ一つ違って高級感のあるのもあれば少し古いのもあり、選んでタクシーに乗る人も多いようです。日本では選ばなくても大体のタクシーが同じ内装しているの、そこにも違いがあると感じました。また、一般の交通によく使われていたものとしてバイクがありました。特に大通りではバイクがならんでいました。日本では歩行者や自転車が優先ですが、台湾では歩行者など関係なく、タクシーもバイクも走ってくるため注意が必要です。

3つめに『食文化』の違いについてみていきます。基本的に外食文化です。朝は朝市がやっており、屋台やお店が出ているため、通勤通学をする人たちが買うことができるようになっています。夜は夜市があるため、そこで食べることでできる食べ物や夜市の中にある飲食店で食べている人も多いです。外食が多い理由として、賃貸住宅にキッチンがない物件が多いとも言われています。食べるものとしては、朝から小籠包や水餃子、肉まん、サンドウィッチが多いです。日本では油の多いものやメインになるものは昼や夜に食べる人が多いですが、台湾では朝からそれらの食べ物を普通に食べています。

最後に『日常の文化』の違いです。台湾の水は硬水のためそのまま飲むことができず、常に水筒を持ち歩き、ウォータークーラーの水かコンビニや、スーパーで買った水を飲みます。また、台湾のトイレはトイレットペーパーを流すことができないので、拭いた後は大きなゴミ箱へ入れて捨てます。流すと詰まる原因となるのでポスターにして捨てないように警告されています。水に流せるティッシュは捨ててもいいものもあるそうですが、だいたいゴミ箱に捨てます。

日本と違った文化に触れることができ、たくさんの人に出会い、生活スタイルの幅が広がった4日間でした。これからの生活にこの4日間で学んだことを取り入れ、台湾の人のように穏やかで、落ち着いている生活ができるようにしていきたいです。

*講評 ガバナー補佐 可児昌則様

台湾交流では、先生も生徒さんもすごくいい経験をされたのではないかと思います。今回の経験が、将来絶対役に立つ時が出てくると思います。関中央RCにおかれましては、こういう場を作って頂いたことを感謝申し上げます。

また、先日の会員増強セミナーに3名の方にご出席頂きましたが、期末までにはぜひプラスで行って頂きたいことをお伝えしまして終わらせて頂きます。

*出席委員会

会員数 32 名、本日の出席 22 名です。

*ニコボックス委員会

・東海北陸道グループガバナー補佐 可児昌則様
お世話になります

・会長・副会長・幹事

関商工の皆様、台湾訪問の報告楽しみにしております。

22 名のご投函ありがとうございました。

*幹事報告

・各務原かかみのRC例会会場変更のご案内
・台湾交流での台北南隆RCへのお土産を配布しましたのでお持ち帰りください。

<次例会の案内>

第 1966 回 2019 年 2 月 14 日 (木)

卓 話 関税務署副署長 谷端富士男様

〃 法人課税第一部門統括国税調査官

梅村 明史様

テーマ 「消費税軽減税率制度の概要」

担 当 ロータリー情報委員会